

市民目線でしっかり追及

日本共産党の4議席



小田 桐たかし



植田 和子



高橋あきら



いぬい えり

SNSで話題

通称『いざきロード』?



おおたかの森地区の道路。市長の一声で「再整備」。約3億円の経費が投入されます。

総事業費7億円に増額

白みりんミュージアムの設置・管理条例が議会で審査され、「ムダな箱物行政」の実態が浮き彫りに。建設費は、当初4億4千万円に加え、外構・内装工事等で総額7億円にも。年間の維持管理費は5千万円に対し、収入は600万円（2万人の来場者予定）。毎年4千万円超の赤字穴埋め…税金の使い方が間違っています。

白みりんミュージアム 毎年4千万円の赤字

12月20日に閉会した第4回定例会。市長の政治の私物化が次々と。一方、議会のチェック機能は…



介護医療

負担増、サービス切り捨てはストップを



来年度、介護保険料の基準額は月6千円を超えることに。また、後期高齢者医療保険料も値上げの年です。しかし、市議会で追及したのは日本共産党だけです。

日本共産党は、『介護保険制度の改善を求める意見書提出を求める陳情』に、唯一本会議で賛成討論を行い、最後まで陳情採択を求めました。

教育

給食無償化の拡充を フリースクールの経済的支援を

今議会、市民が提出した『給食の保護者負担軽減を求める請願』が審査され、国への意見書提出が採択されました。

全国の不登校児童生徒は30万人弱（22年度末）となり、流山市でも351人（昨年10月末）と憂慮すべき事態です。

市独自の無償化拡大は否決されたものの、委員会審議で、第2子半額（1億5千万円）が予算上、実現可能であることも判明しました。

日本共産党は、フリースクールに通学する子どもへの経済的支援を提案。1人月1万円を支給しても総額180万円で実現できます。

市議会 ねほりはほり

救急医療の体制構築を

保守系議員（流政会）は、夜間小児救急の改善を求める質問をする一方、医療・介護の人員増などを求める市民の陳情には反対しました。

医療従事者や医療機関への非難だけでは問題は解決しません。救急医療体制を維持・充実するための経費を増額し、安心・安全な市政をどう築くのか…市長・議員の行動力が問われています。

市長・議員の手当て増額の方で

市長と議員の手当引き上げ条例が可決（日本共産党は反対）。市長は12万円、議員で5万5千円の手当引き上げです。一方、『最低賃金引き上げを求める意見書』は反対…市民には冷たすぎませんか？

身近な要求実現



データセンター建設計画 事業者が取り下げ（平和台） いぬい えり



道路整備・舗装（前ヶ崎370地先） 高橋あきら



スクールゾーン入口、わかりやすくなりました（新川小学校） 植田和子



本格的工事始まる（初石駅） 小田桐たかし